情報をクリップする

CLIPS®
Creative Leader In Paper & Stationery
（クリップス）

発行所 紙製品新聞社
〒542-0061大阪市中央区安堂寺町2-4-14 文健会館3階
TEL06(6765)1881 FAX06(6765)1880
購読料 1年間11,000円

e-mail:clips@ah.wakwak.com
JCOPY 本紙の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に㈳出版者著作権管理機構（tel.03-5244-5088、fax03-5244-5089 e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得て下さい。

KOKUYO
Campus®
コクヨ株式会社

変わりゆく社会に新価値創造を

大紙工総会
志方弘嗣（ダイゴー）氏が副会長
杉浦正樹（羽車）氏が常任理事に

大阪紙製品工業会（黒田章裕会長）の第76回定時総会が、4月15日午後3時30分から富山県・宇奈月温泉の「延楽」で開催、上程諸議案を全て原案通り承認可決し、任期満了に伴う役員改選では、黒田会長が留任したほか、志方弘嗣常任理事が副会長、杉浦正樹理事が常任理事に昇任、また、井村優氏が理事、村田健氏が会員、井村守宏氏が顧問にそれぞれ新任した。

挨拶する黒田会長

当日は、寺村聖一専務理事の司会で進め、会員10人のうち本人出席9人、委任状出席1人の全員出席で総会が成立することを宣言した後、黒田会長が多数の出席と日頃の協力を感謝しながら、大要次のように挨拶した。

「従来のヒエラルキー型の組織から、全階層が横一線で社会とつながるような在り方へと変化しつつある。これからの時代は、現場に最も近い人々とトップが一体となり、企業全体が社会課題に向き合っていく構造が求められる。ものづくりの分野において、日本は依然として高い実行力を有しているが、今後は「見つける力」、すなわち困難な課題や顕在化していないニーズを捉え、そこに取り組む力が重要になる。弊社では全社員に対し、『自分が社会課題に対して何をしたいか』を宣言する〝ヨコク〟を実施している。これは、将来の行動につながる意志表明であり、たとえ実現が困難であっても、夢や視野を持つことが重要であると考えている。社員の中には『宇宙でカウネットを展開したい』といった大胆なアイデアもあり、そうした発想が次代のヒントになる可能性もある。

大紙工メンバー

市場は変化し、従来の『量』『価格』『スピード』重視の競争では対応しきれない時代が来ている。企業にとっては、見つけにくく、成果がすぐに見えにくいテーマに対し、社員の能力と努力をどのように投じるかが問われている。現場に最も近い人たちと同じ感性を共有しながら経営することが、これからの企業に求められる姿である。

そのような変革の時代にあって、4月13日に開幕した大阪・関西万博は、大きな節目であり象徴的なイベントである。『いのち輝く未来社会のデザイン』のテーマのもと、展示されている〝拍動する心臓〟のように、生命や未来社会を支える新たなアイデアに注目が集まっている。我々の業界も、この万博を一つの契機とし、社会に貢献できる企業、役に立つ存在として進化していくことが求められている。

本定時総会は、76回目を数えるが、まさに次代に向けたスタートの年である。団体としても、変わりゆく社会において会員企業が新しい価値を創出できるよう、共に歩みを進めてまいりたい」と挨拶した。

この後、議事録署名人に富田浩崇理事と鴨谷仁理事を指名した。

議案については、全て事務局の寺村専務理事より説明、第1号議案の令和6年度事業報告書承認の件では、最重要目標の会員拡大と増強、組織の活性化に取り組んだほか、定例会、福利厚生活動（歩こう会、OPPA会）、文紙MESSE協議会への積極的な取り組みの他、全日本紙製品工業組合への運営貢献、特別会員との交流、日本封筒フォーラム、JEMA会、大阪ファイル・バインダー協会、関西ノート協議会など多面的な活動、近畿地区各文協フェアへの協力、大阪文紙会館行事への参加、関係諸団体等への会議・行事への積極的な参加など、事業活動の概況及び主要事業について詳細に説明。

これら事業に伴う第2号議案の令和6年度収支決算報告、及び繰越金処分案と、監査報告を行って承認可決。

第3号議案の令和7年度事業計画案では、前年度を踏襲した内容で、①大阪紙製品工業会の活性化推進②紙製品産業への振興③情報化への対応④国際化への対応⑤環境問題への取り組み⑥技術革新への対応⑦流通近代化への対応⑧人材の育成⑨文具・紙製品見本市への積極的参画の9項目を掲げ、これら事業遂行に伴う第4号議案の事業予算案では、1715万余円を計上して承認可決した。

大紙工総会懇親会での記念撮影

第5号議案の任期満了に伴う役員改選は、黒田会長以下次のように決めた。

会長　黒田章裕（コクヨ）
副会長　西川雅夫（セキセイ）、志方弘嗣（ダイゴー）・新
常任理事　白石元宏（フジックス）、杉浦正樹（羽車）・新
理事　笹川正裕（ササガワ）、富田浩崇（トミー）、鴨谷仁（コーキ封筒）、角坂靖夫（日本ノート）、井村優（イムラ）・新
会員　村田健（コクヨ）・新
専務理事　寺村聖一（事務局）
顧問　鴨谷清三（コーキ封筒）、井村守宏（イムラ）・新

小憩後、午後6時から会員及び会員夫人、特別会員など24人が参加して懇親宴を開催。

開宴に先立ち、西川副会長が会員夫人の内助の功、特別会員の支援、協力を感謝しながら、「厳しい環境下ではあるが、大阪・関西万博で、世界の人達に文具をアピールする機会なので、各位も前向きに取り組んでもらいたいし、会員と特別会員のさらなる絆を強めたい」と開宴挨拶、特別会員の日本紙通商・安西信之取締役関西支社長の乾杯の音頭で開宴した。

宴中、初参加の6人の紹介もあり、賑やかに歓談、親睦を深めた。

なお、一行は14日はJR大阪駅に集合、富山に向かった。

昼食は、富山市の老舗料亭「磯料理　松月」での白エビ尽くしの会席料理を楽しんだ。この後、富山ガラス美術館の見学を行い、宇奈月温泉に投宿した。

翌日は、観光組とゴルフ組に分かれ、観光組は、昼食では氷見牛ステーキや雨晴海岸から望む雄大な立山連峰の絶景などを楽しんだ。

ゴルフ組は、呉羽カントリークラブで12人が参加して第158回OPPA会を開催、石川政広氏（リンテック）が優勝した。

なお、歩こう会が300回を迎えることから、7月15日に記念の祝宴を計画していることも発表した。

匠の技 ステンレス製
高級つめきり

美しい暮らしを創る装粧利器刃物
グリーンベル
http://www.greenbell.net/

11月15日は（いい）「いいインコの日」（インコ）
sedia
since 1932
www.sedia.co.jp

heart
www.heart-group.co.jp
人から人へ心を伝える ハート紙製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー・環境対応製品
ハート株式会社

HAGURUMA